2023年　看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する体制整備計画

2023年4月作成

	目標	具体策
1	多様な働き方を推進し、人的資源を確保する	①業務の切り出しを行う ②多様な働き方を導入する （シーツ交換の短時間制の採用、物品管理の中央管理等） ③働き易い勤務シフトの検討とトライアルを実施する（スケジュールの公平性、夜勤時間）
2	看護補助者・他職種と連携しタスクシフトができる	①日常生活援助をタスクシフトを実施する ②看護補助者の業務調整をグループ部署同士で協働する ③介護福祉士の記録の検討をする ④介護福祉士の業務を確立する ⑤夜間看護補助体制加算100対1を継続する（当院の看護補助者による） ⑥看護補助者の直接雇用を推進する ⑦薬剤部と協働したタスクシフトをする
3	効率的な働き方を考え業務を改革する	①各部署で業務改革チームを作り、各部署で効率的な仕事を検討する ②他施設を見学し、当院の改善点を洗い出す ③改善点の対策を検討する ④パスを推進する（適応率を上げる） ⑤包括指示を推進する
4	働きやすい職場環境を整える	①満足度調査の課題への取り組みを実施する ②始業前就業ゼロを目指す ③計画的年休を推進する ④働き易い勤務シフトの検討とトライアルを実施する（スケジュールの公平性、夜勤時間） ⑤当直師長業務の労基への届け出と働き安い勤務形態へ変更する ⑥既卒入職者の意見交換から課題抽出と取り組みを実施する ⑦各部署で意見交換し、課題抽出と取り組みを実施する
5	働きやすい物品管理を行う	①5Sを推進する ②血圧計、体温計等の整備をする ③修理期間の明確化と伝票の電子化を図る ④職員全体で物品管理や購入計画に参画する
6	適正配置により部内全体で看護を提供する	①計画リリーフ体制を確立する ②配置を数値化し各部署の適正配置から勤務計画表を作成する ③適正配置数に基づき傾斜配置を行う
7	心理的安全性のある組織風土作りを図る	①ヘルシーワークプレイスを推進する ②各部署で心理的安全性について共有する ③各部署で課題抽出と取組みを実施する ④③により部内全体で取組みを実施する ⑤主任会を中心にアクションプランに取組む
8	医師の働き方改革へ貢献する	①特定行為研修を推進する ②要望に基づいた手術前・輸血時のルート確保と輸血認証を実施する ③化学療法時のルート確保に向けた研修を開始し実施する（年40人の育成） ④さらなる医師の要望によるタスクシフトの検討を実施する
9	医療DXを活用した効率的な働き方を推進する	①Haru（腰痛予防補助ロボット）の導入と活用推進を図る ②電子カルテへのバイタル連動のシステムを導入する ③電子カルテ・DXを効率よく活用する他院の先駆事例を学び、ベンダーと交渉する ④医療DXを活用でいる人材の発掘と育成をする